

推薦調書（アイデア部門）

		推薦都道府県		大分県
地方公共団体名	杵築市			
アイデア名称	ドローンを活用した物流と新たな観光資源の開発			
連携自治体、企業、団体等	大分県（新産業振興室）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、株式会社オーイーシー、株式会社きっとすき、杵築市観光協会ほか			
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的な内容）	（種類）	①	（左記が①の場合の分野）	物流、観光
	【デジタルを活用したアイデアの全体概要】 ○ 杵築市が、ドローン物流の実証実験を通じて、移動手段を持たない買物弱者への支援などの社会実装を目指すと同時に、コロナ禍で激減した観光客数を回復するメニューとしてドローンを活用した観光資源のPRを行う。 【実施に至る経緯・動機】 ○ 杵築市が出資する地域商社である「株式会社きっとすき」では、全国の地域商社で唯一ドローン事業に取り組む「ドローン事業部」を立ち上げ、杵築市観光協会と連携したドローン空撮サービスやドローン教室などを実施し、住民のドローンに対する認識も比較的高い地域である。 大分県の実証実験を以下実施してきた。 『空飛ぶハモ鍋セット』大分県ドローン物流活用推進事業 実施日 2020 年 12 月 8 日～12 日 - NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト 地域特性・拡張性を考慮した無人航空機運航管理システムの実証事業 実施日 2021 年 10 月 27 日 『空飛ぶおおいと和牛』ドローン BBQ デリバリー実証実験 実施日 2022 年 1 月 8 日以降 1 月の毎土曜日 【解決する課題の具体的な内容】 ・少子高齢化の急伸地域、中山間地域といった条件不利地域における移動手段を持たない買い物弱者支援 ・運転免許返納後の農作物出荷支援 ・コロナ禍で激減した観光客数を回復させる WITH コロナ時代にあった観光資源の開発			

デジタルの活用により目指す成果（数値）	・ドローン物流サービス化 持続可能なドローン物流サービス化を目指し、まずはドローン物流による「体験型観光サービス」の提供 「るるパーク（大分農業文化公園）」、「横岳自然公園」などで行っている車両によるＢＢＱ食材の提供をドローンによる配送に置き換え、ドローン物流自体を体験型アトラクションとして提供する。 ・「きつき空飛ぶ観光協会」の充実により観光客数の回復を図る。 既にメニューとしてある「ドローンを飛ばそう～きつきドローンパスポート」、「ドローンで撮ろう～杵築城メモリアルドローン」、「ドローンで歩こう～きつきドローンＶＲ散歩」を更に充実させ観光客数の回復を図る。 観光客数 2019 年 976,405 人 2020 年 601,196 人 2021 年 741,804 人 目標 1,000,000 人
本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	まずは、一般的に認知しやすい「体験型の観光サービス」として取り組み、将来的には恒常的な物流サービスの足掛かりとすること。 せっかく、「体験型の観光サービス」を行う以上は、杵築市内で最も入込客数の多い「るるパーク」の入場者を市街地の城下町観光に誘客するアイテムとしてドローンを活用する、物流と観光をミックスした展開とする点
今後の展望	物流面では、3 度の実証実験を基に、「観光サービス」としての物流実績を重ねることにより、実装物流へのノウハウを磨く。 観光面では、ドローン体験（目撃）を実体験（操縦、ＶＲ体験）に展開し、市内 5 か所の飛行エリア（山から海）を巡ってもらうことによる市内全域への観光展開を図る。